

1. 学習内容とソフト該当項目

おおきさ・とけい(とけいのよみかた／みてみよう！・もんだい)

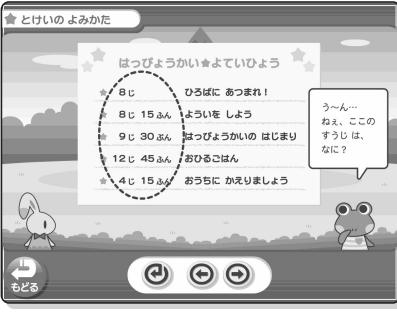
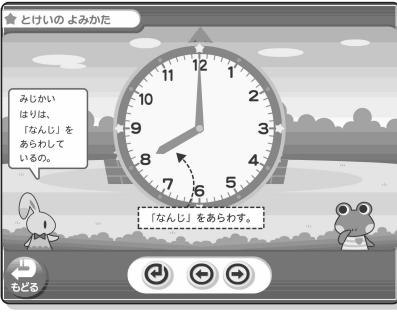
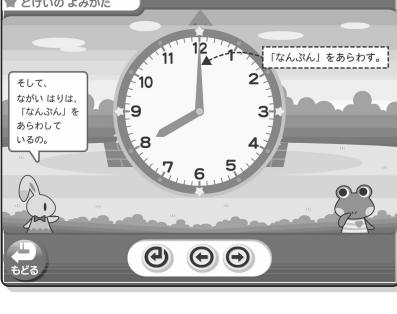
2. 本時の目標

- 日常生活の中で時刻に関心をもち、進んで時計を読もうとする。
- 分刻みの読み方を理解する。

3. 本時の展開

「わかる！さんすう」をこの学習で使うポイント

- 『とけいのよみかた』の『みてみよう！』で、時計の『長い針』『短い針』『1分』の読み方の基本を知り、時刻を読むことができるようになる。
- 『もんだい』を通じて、時刻の読み方を練習し、理解をより確実なものとすることができる。

	画面例	教師の働きかけ	児童の活動
つかむ	 	<p>「みなさん、もうじき遠足ですね。遠足の予定は、時計が読めないと分からなくて困りますね。そこで、今日は発表会の予定表を使って、時計の読み方の学習をします。」</p> <p>「そうですね。みなさんは、普段から時計を読んでいますか？ 今日の学習で、確実に読めるようになりますようね。」</p> <p>「『とけいのよみかた』の『みてみよう！ボタンをクリックしてください。』</p> <p>「発表会の予定表がありますね。この表は読みますか？」</p> <p>「そうですね。しっかり読めていますね。」 「では、時計を使って、時計の読み方を確かめましょう。」</p>	<p>「早く遠足に行きたいなー。」</p> <p>「私、時計の読み方を知ってるよ。私は、朝7時に起きます。」</p> <p>「ぼくも今日は7時に起きました。」</p> <p>「時計って、数字や目盛りがいっぱいあって、どう読んでいいのか分からないや。」</p> <p>「はい、広場に集まるのは、8時になっています。」</p> <p>「発表会は、9時30分に始まります。」</p>
見通しをもつ	 	<p>「画面の中の時計をよく見てみましょう。どんなことが分かりますか。」</p> <p>「そうですね。よく見ることができました。この短い針は、『何時』を表しています。」</p> <p>「では、長い針はどうでしょう。」</p> <p>「その通りです。長い針は、『何分』かを表しています。」</p>	<p>「長い針と、短い針があります。」</p> <p>「1から12まで、数字が書いてあります。」</p> <p>「12が一番上にあります。」</p> <p>「とっても小さな目盛りがあります。」</p> <p>「あっ、分かったよ。」</p> <p>「『何分』を表しているのだと思います。」</p>



見通しをもつ

「そして、この一番小さい目盛りが『1分』を表しています。例えば、長い針が小さい目盛り8個分動くと、何分進んだことになると思いますか？」

「目盛り8個分だから……分かった、8分だね。」

この画面まで表示しながら、時計には「長い針」と「短い針」があり、「長い針」が「何時」を表し、「短い針」が「何分」を表していること、長い針の1目盛りが「1分」であることをまとめます。



考える

「それでは、これは何分を表していますか。」

「えーっと、1、2、3、4……。」

「5、10、15と数えたらいいよ。」

「そうだよ。1から数えたら大変だよ。」

「数字の書いてあるところが5目盛りずつになってるから、5、10、15と数えるといいと思います。」

「そうですね。」

「15目盛りで何分と読めばよいですか。」

「15分です。」

「これで、発表会の予定表も分かりますね。」

「時計が読めると、遠足に行く日もきちんと時刻が分かって、しっかり行動できますね。」

「時計を読むのは苦手だったんだけど… …これで、読めるようになるかなあ。」

「大丈夫だよ。きっと読めるよ。」

「ありがとう。」



まとめる

「それでは、初めのページに戻って、**もんだい**に挑戦しましょう。ボタンをクリックしてください。」

「はーい。」

「?にあてはまる数字を選んでクリックしてください。正解できたら次々と問題を解いていきましょう。」

「この問題は簡単だね。もっと難しい問題はあるのかな？」

「できた人は、ワークシートの問題に挑戦しましょう。」

「先生、次はどの問題に取り組んだらいいですか？」

ワークシートを準備し、「わかる！さんすう」の問題が解けた児童から取り組ませる。

memo

ソフト画面 資料

図1 ソフト起動画面



memo

図2 メインメニュー画面



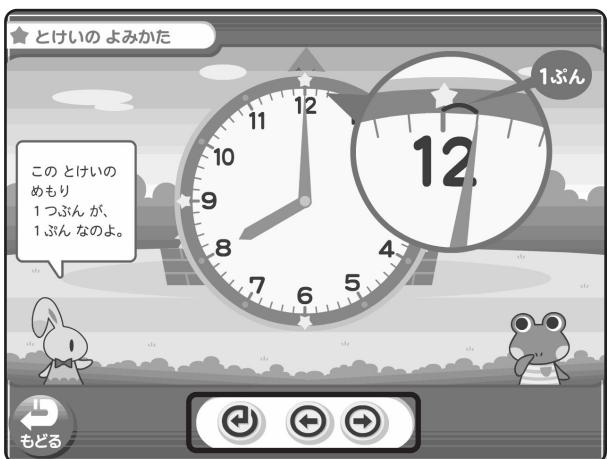
図3 サブメニュー画面



「とけいのよみかた」
みてみよう!

「とけいのよみかた」の「みてみよう！」では、お話を追いながら、時計の読み方を学習できるようになっています(図4)。お話をの節目では、→(すすむ)ボタンが黄色く点滅しますので、クリックしてシーンを進めてください。

図4



「とけいのよみ方」 もんだい

「もんだい」のコーナーで出題される問題は、1セットあたり8問です。前半4問は、数字ボタンをクリックして解答します(図5)。後半の4問は、時計の短針の位置にマウスカーソルを移動させ、クリックして解答します(図6)。問題が難しい時は、ヒントボタンをクリックすると、音声で考え方のヒントを教えてくれます。

図5 問題画面1



図6 問題画面2

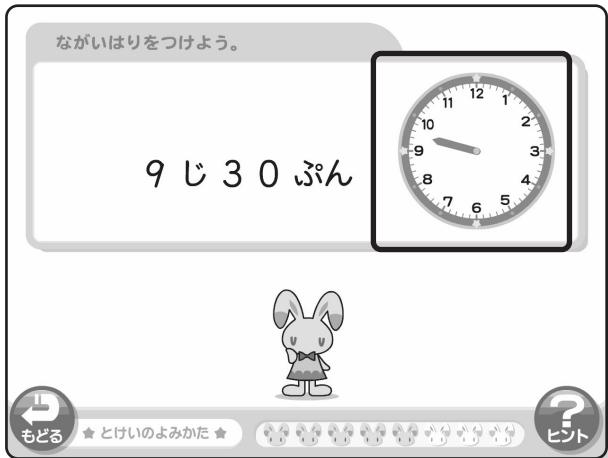


図7 正解した時の画面



図8 不正解の時の画面



図9 全問終了時の画面



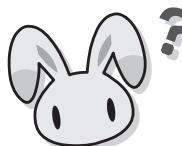
memo

8問全問正解した後は、レベルアップボタンをクリックすると(図10)、続けて少し難しい問題に挑戦することができます。レベルは4段階まで設定しております。

くみ

ばん

なまえ



とけいのよみかたをまとめましょう。

ながいはりは

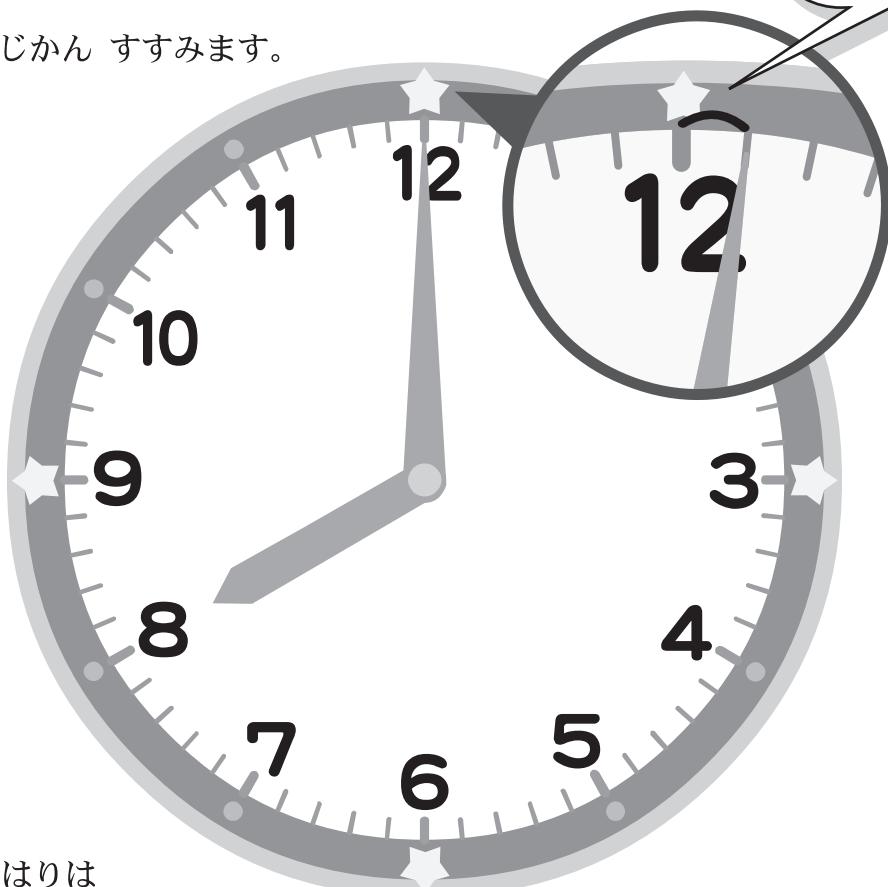
をあらわします。

1しゅうすると

じかん すすみます。

いちばん小さな
1めもりは

ふん です。



みじかいはりは

をあらわします。

1しゅうすると

じかん すすみます。

↑いま、このとけいは

じをさしています。

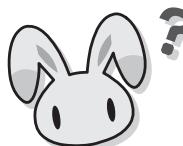


きょうしつにあるとけいをよんでみよう！
いま、なんじ なんふん かな？

くみ

ばん

なまえ



とけいのよみかたをまとめましょう。

ながいはりは

なんふん

をあらわします。

1しゅうすると

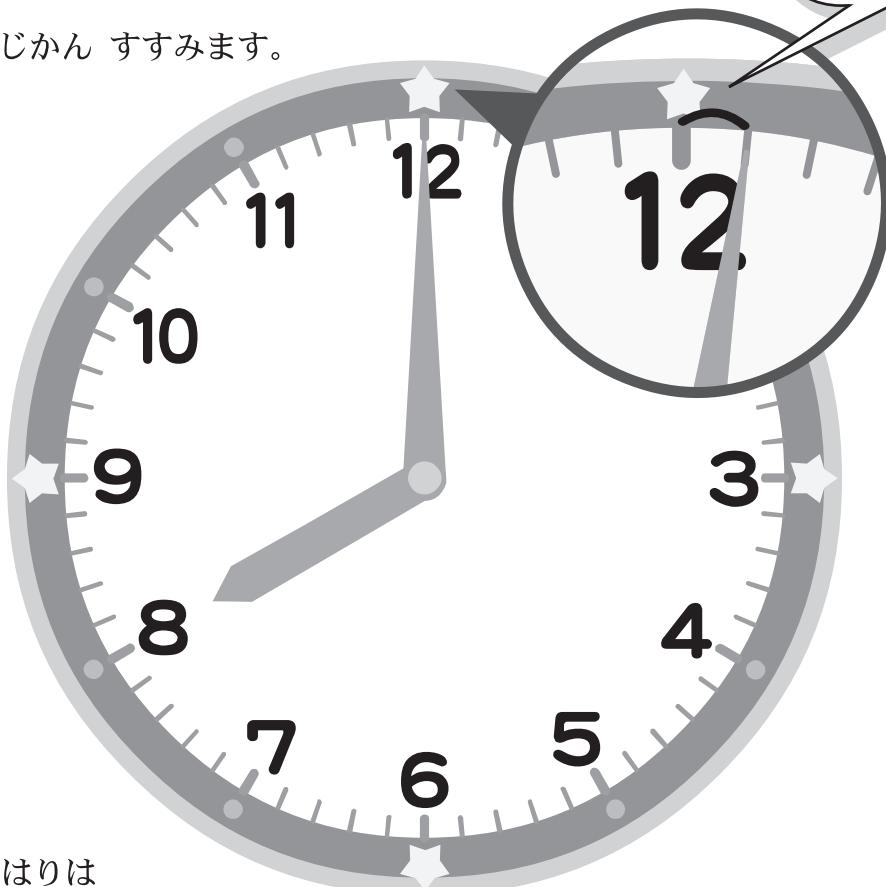
1

じかん すすみます。

いちばん小さな
1めもりは

1

ふん です。



みじかいはりは

なんじ

をあらわします。

1しゅうすると

12

じかん すすみます。

↑いま、このとけいは

8

じをさしています。

きょうしつにあるとけいをよんでみよう！
いま、なんじ なんふん かな？

くみ

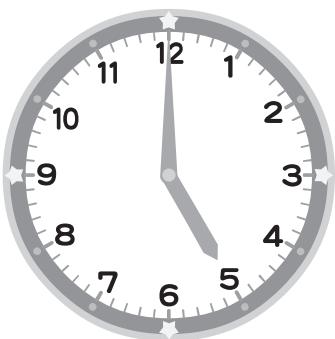
ばん

なまえ

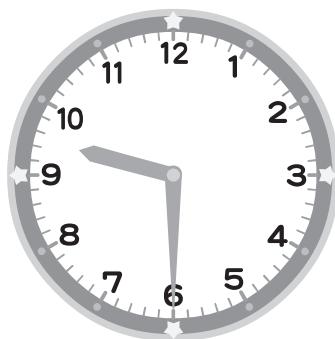


とけいをよんで、なんじ なんふんか こたえましょう。

①



②



こたえ

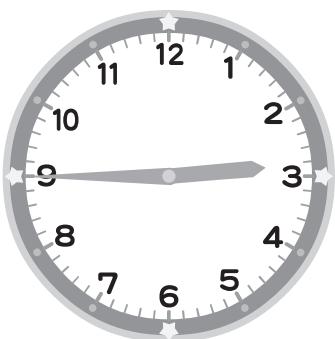
じ

こたえ

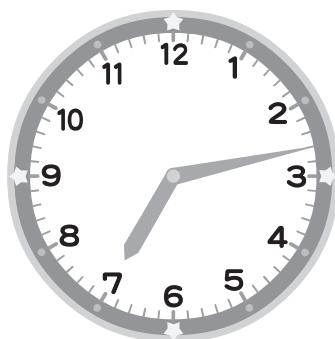
じ

ふん

③



④



こたえ

じ

ふん

こたえ

じ

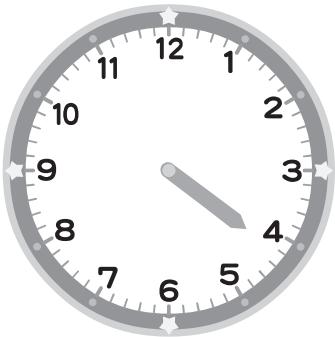
ふん



つぎの じこくに なるように、ながい はりを かきましょう。

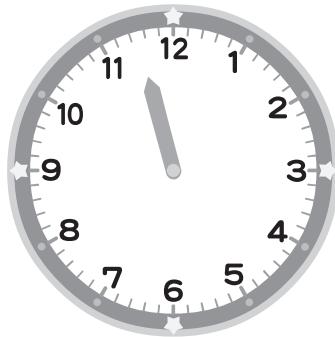
⑤

4 じ 15 ふん



⑥

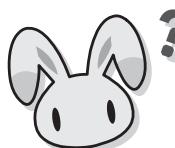
11 じ 38 ふん



くみ

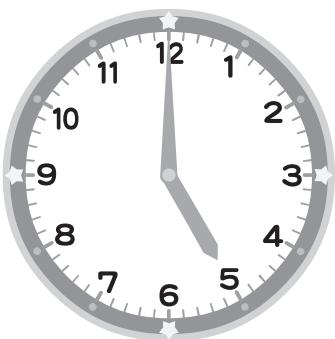
ばん

なまえ



とけいをよんで、なんじ なんふんか こたえましょう。

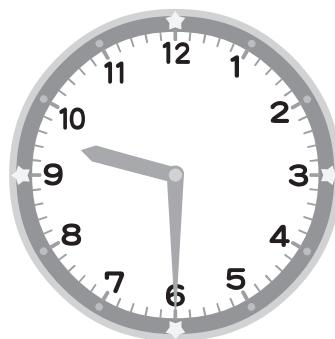
①



こたえ

5 じ

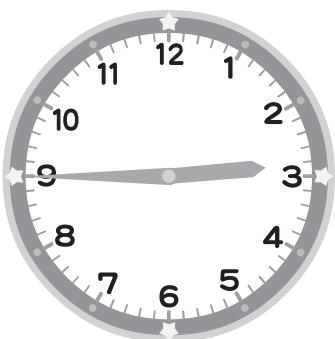
②



こたえ

9 じ 30 ふん

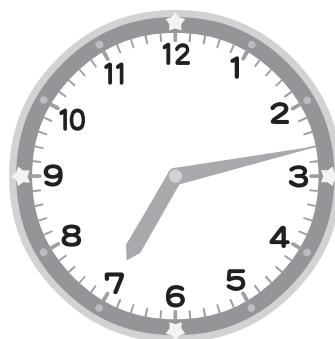
③



こたえ

2 じ 45 ふん

④



こたえ

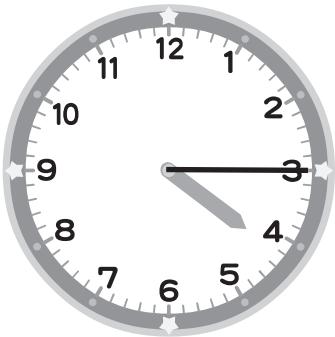
7 じ 13 ふん



つぎの じこくに なるように、ながい はりを かきましょう。

⑤

4 じ 15 ふん



⑥

11 じ 38 ふん

